

CLIO meeting 議事録 (081211)

日時 : 2008-12-11 17:00-18:00

出席者 : 三代木、内山、我妻 (神岡)

黒田、大橋、森脇 (柏)

高橋、新井、辰巳、上田、宮川、和泉 (天文台)

鈴木 (KEK)

議題 :

資料は下記にあります。

<http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/JGWiki/CLIO/Meeting/weekly>

0. 神岡での作業

修理されたレーザーを再インストールしての干渉計復旧作業。

詳細は

http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/clio_blog/

参照。

1. コイル・ドライバー雑音について

辰巳より雑音低減策について説明があった。

- 対策の第1段として、コイル・ドライバーに周波数特性を持たせる。

周波数特性 : pole 3Hz, zero 300Hz

TAMA で採用されている passive-filter 方式。

辰巳が TAMA で作成した基板に回路を実装し、神岡に送ることが決まった。

とりあえず1コイルドライバー分(4回路内蔵基板)

zero 3Hz pole 300Hz の pre-emphasis filter もセットで作成。

2. 内山より、低温化に向けた問題点の説明があった。

Damping 方式, Coil Bobin の支持方式については審議継続。

3. 低温用 Coil Bobin の製作

- Coil Bobin の素材は窒化アルミを第1候補とする。

- 形状デザイン担当は内山。
- 製作担当者は KEK 鈴木。

5. エンド透過光の終端処理問題

- 光は TAMA で採用されているような ND で dump するよう新井より提案があり、了承された。
- 光は常温部で dump すること。低温部に熱を落とさないこと。具体的なデザインは引き続き検討、担当者：三代木。

6. Beam centering

- 宮川より
エンド透過光を QPD で受けてモニターしたいとの提案があり
了承された。
- 鏡設置の際に使う粗調ジグについて、設計：三代木、製作：新井
で進めることが決まった。

次回の議題は

- noise budgetting
- CLIO の大雑把なスケジュール、その他

以上